

(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	豊橋市	子ども会名	<input checked="" type="checkbox"/> 単子 <input type="checkbox"/> 校区 (☑点を記入してください) 第一向山一区 子ども会
事業名	台町公園レクリエーション		
活動名	<input type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input checked="" type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに☑点を記入してください)		
活動の内容 ・事業の目的 ・プログラムの内容	卒業&進級を祝う会として、恒例のボウリング大会の代わりにコロナ下を考慮した公園でのレクリエーションを企画しました。時間帯別かつ企画難易度の違う3ステージ制で人数を制限することで参加者のソーシャルディスタンスを確保。内容は幼児向けは公園内に春の生物や植物の絵を隠しておき、それを見つけていくゲーム。小学低中学年向けは公園内にひらがなを隠しておきみつけたひらがなを組み合わせる言葉を作るゲーム。高学年向けは公園内に難解な漢字ゲームを用意。各々、正解数ごとに景品がもらえる仕組みでもっと探そう、考えよう、解いてやろうという意欲をかきたてます。		
日時	2022年3月20日(日) 時間 9時 分~12時	場所	豊橋市向山台町公園
予算	30,000円(各ゲームポップ、回答カードほか・景品・参加者全員へ紙パックお茶など)	参加人数	子ども 24名 大人 16名 スタッフ役員 2名
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	2年連続中止された3月の恒例行事をコロナ下で配慮しながらできそうな屋外イベントを企画でき、子どもたちの喜びの声がたくさんあがりました。ゲーム内容を考えるときは各々の年齢別でヒアリングをし、やりたいこととできることのバランスをとったゲーム内容に仕上げることができました。子ども同士または保護者同士の接触時間なども考慮しゲーム時間は各一時間で切りあげるよう、短時間でも子どもが満足できる内容にできました。		
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	高学年にゲームの内容を相談していたところ、当初は魚への漢字で答えを3つから選ばせるようにする予定でしたが、もっと難しいものに挑戦したいや漢字の得意な子がいるから解いてみせるなど、やる気をみせたため魚へに限らず大人でも読みにくい漢字の問題を出すことになりました。		
HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (☑点の記載必須)	HP掲載承諾	<input checked="" type="checkbox"/> 済 (☑点の記載必須)
			